



ラ マムーニア「La Mamounia」は1923年のオープン以来、マラケシュを代表する伝統と格式を誇るホテルとしてその名を馳せている。創業時からのアラブ・アンダルシアと、ヨーロッパのアールドコ様式を融合した格式の高さに、モロッコ先住民ベルベル人の伝統様式が加味され、より現代的な“エキゾチズム”を演出している



元々、王族の邸宅であった“リヤド”を改装して創業したラ マムーニアは、かつてチャーチル元英国首相が“世界で一番美しいホテル”と絶賛したマラケシュ屈指の歴史的なホテルだ。今年秋にコンデナスト・トラベラー 2018 読者投票にて世界 No.1 及びアフリカ No.1 のホテルに選出されている



正面エントランス車寄せに到着すると、モロッコの伝統衣装を纏ったドアマンが笑顔で迎えてくれる



過去に5度の大規模改装を施し、直近の改装は2008年から3年間を掛けて、モナコの「メトロポール」などを手がけた著名デザイナーのジャック・ガルシアが担当した



プール脇にある地中海料理「Le Pavillon de la Piscine」



広大な庭園の中央にあるパヴィリオンから望むラ マムーニアの本館建物



筆者 小原 康裕  
国際ホテルジャーナリスト

慶義塾大学法学部法律学科卒。  
1974年 Munich Re 入社。  
2001年投資顧問会社原健設立、  
代表取締役 CEO。  
JHRCA、日本ホテルレストランコンサルタント  
協会常務理事。  
SKAL International Tokyo、  
Professionnels du Tourisme 会員。  
JARC、日本宿泊施設関連協会  
アドバイザーボードメンバー。

[www.jhrca.com/worldhotel/?cat42](http://www.jhrca.com/worldhotel/?cat42)  
[www.hoteresonline.com](http://www.hoteresonline.com)  
<https://www.facebook.com/yasuhiro.obara.16>

世界にはまだまだ日本人が訪れていないホテルがある。このコーナーではホテルエが知っておくべき「世界のリーディングホテル」を紹介する。これまで多くのホテル紹介本が出版されてきたが、そのほとんどが現地のホテルと事前に取材の連絡を取り合い、プロのカメラマンや通訳、そのほか大勢を連れ立っての大名取材であり、宿泊は省略といったことも多々であった。本連載では、著者自身が長年にわたる個人旅行中に自分の目で感じ取り、コメントを書き込み、自分のカメラで思いのままを撮ってきた写真を掲載する。

## La Mamounia Marrakech

ラ マムーニア「La Mamounia」は1923年のオープン以来、マラケシュを代表する伝統と格式を誇るホテルとしてその名を馳せている。旧市街を囲む12世紀の城壁内にあり、近隣のスークの慌しさを忘れさせてくれるオアシスと言える。過去に5度の大規模改装を施し、直近の改装は2008年から3年間を掛けて、モナコの「メトロポール」などを手がけた著名デザイナーのジャック・ガルシアが担当。創業時からのアラブ・アンダルシアと、ヨーロッパのアールドコ様式を融合した格式の高さに、モロッコ先住

民ベルベル人の伝統様式が加味され、より現代的な“エキゾチズム”を演出している。

ラ マムーニアの名称は、君主スルタンのシディ・モハメドと妻ララ・フェチマの息子、マモウン王子「Arsal el Mamoun」に由来する。したがってホテルは王室とも関連があり、モロッコ国有鉄道「ONCF」やマラケシュ市などが親会社となっている。元々、王族の邸宅であった“リヤド”を改装して創業したラ マムーニアは、かつてチャーチル元英国首相が“世界で一番美しいホテル”と絶賛したマラケシュ屈指の歴史的なホテルだ。今年秋にコンデナスト・トラベラー 2018 読者投票にて世界 No.1 及びアフリカ



夕暮れ時のフランス料理「Le français」のエlegantなテラス席



フランス料理「Le français」の室内からテラス席方向を望む



モロカンワインのテイスティング。ホテルとしては初の試みで、チーフソムリエ氏がモロカンワインの歴史を解説し、コートヤードを占有して特別な講義形式で歓待して頂いた



ラマムニアを愛したチャーチル元英国首相に由来するバー「Le Churchill」



多くのランタンが並ぶスパ施設「Spa at La Mamounia」への幽玄なるアプローチ。モロッコ文化とオリエントの伝統が見事に溶け合う完璧なる癒しを提供している



アラビアンムードたっぷりのゴージャスなスイミングプール

No.1 のホテルに選出されている。

ラマムニアはスイートを含む全 207 の客室と 3 軒の戸建てリヤドを擁して広大な敷地に佇んでいる。正面エントランス車寄せに到着すると、モロッコの伝統衣装を纏ったドアマンが笑顔で迎えてくれる。今回は約 150㎡の広さを持つシグネチャースイート「The Marqueterie Suite」を紹介したい。2 ベッドルームとミーティングルームを擁したスイートで、名称の Marqueterie は“寄せ木細工”とも訳され、木片を組み合わせたモロッコの伝統画が部屋の壁面に飾られている。レストランは充実しており、モロッコ料理「Le Marocain」のほか、フランス料理「Le français」、イ

タリア料理「L'italien」、プール脇にある地中海料理「Le Pavilion de la Piscine」の 4 軒のダイニングを用意している。スパ施設「Spa at La Mamounia」は 2,500㎡の広さを誇り、モロッコ文化とオリエントの伝統が見事に溶け合う完璧なる癒しを提供している。

今回、ホテル側からモロカンワインのテイスティングに招待された。ホテルとしては初の試みで、単にテイスティングのみならず、チーフソムリエ氏がモロカンワインの歴史を解説し、コートヤードを占有して特別な講義形式で歓待して頂いた。ラマムニアの卓越したホスピタリティーと歴史に彩られた夢の空間は訪れるゲストを魅了している。



約 150㎡の広さを持つシグネチャースイート「The Marqueterie Suite」のベッドルーム。2 ベッドルーム、書斎、そしてミーティングルームを擁したスイートだ



リビングからベッドルーム方向。「Marqueterie」とは寄せ木細工とも訳され、木片を組み合わせたモロッコの伝統画が部屋の壁面に飾られている



書斎からリビングルーム方向を望む。いかにもアラビックな空気が漂う



テラスはメインベッドルームからリビング、セカンドベッドルームまで続く



イタリア、カララ産の大理石を使用したゴージャスなバスルーム